

「私の助けはどこから」

早くも9月を迎えました。最も暑い時期を過ぎ、これからはだんだん涼しくなっていくでしょうか。国分寺キリスト教会は、8月に比較的近くにある五色台少年自然センターにて、バイブルキャンプを2泊3日で行いました。地元や近隣の小学校、中学校などでもよく利用される施設のように、山の中にありますが、事務所から近い広場からは高松市内の風景を見下ろすことができます。



今回は小学1年生から中学1年生までが参加し、1日目の夜は天体望遠鏡から星を見る天体観測や、車で10分くらいの五色台休暇村にあるプールにも行きました。また2日目の夜には、キャンプファイヤーをしたり、年齢によってはアスレチックで汗を流す子どもたちもいました。またメインイベントである集会では、一緒に聖書のお話を聞いたり、子ども向けの賛美を歌いました。あつという間のキャンプでしたが、一緒に過ごし、一緒に楽しみましたので、よき思い出のひとつを持つことができたのではないかと思います。施設のスタッフによると、山は天候に左右されることが多く、雲っていたり、雨が降ったりすることも多いので、天体観測もキャンプファイヤーも両方できるのはなかなかないとのことでした。

さて、キャンプの集会では、聖書の創世記から、神様が天と地とその中にあるすべてのものを作ってくださったということを知りました。子どもたちの多くが興味を持つ「恐竜」も神様が造ってくださったものであり、「化石」のこともお話にありました。私たち人間も天地万物の造り主(創造者)によって造られ、愛され、今も恵みのうちに生かされています。また集会の中で、聖書の詩篇121篇1-2節から学び、私たちの助けは主なる神様から来ること、しかもその神様は天地を造られた主であることを確認しました(今回のキャンプで覚える聖書のことば:暗唱聖句でした)。詩人はこう歌っています。「私は山に向かって目を上げる。私の助けはどこから来るのか。私の助けは主から来る。天地を造られたお方から。」

私たちはしばしば「五色台」と言いますが、どうして「五色台と呼ぶのだろうか?」と疑問に思い、調べてみました。「五色台」の「台」は台形の形をした山などを指すようで、五色台は厳密な台形ではありませんが、「五色」すなわち5つの「峰」(みね)を5つの代表的な色で象徴しているようです。五色台には「白峰」、「青峰」、「黄峰」、「赤峰(紅峰)」、「黒峰」があります。日本では、「山」というのは神々が住んでいるところ、神々を祭るところと考えられています。山が「カミ」そのものであると考えられることもあります。ですので、山の頂上には「ほこら」や小さな神社などがあります。

山はキャンプをしたり、車でドライブに行ったり、登ったり、ハイキングをしたり、美しい景色の写真撮影をしたりと気分転換などリフレッシュをする場所ではあります。聖書時代にも、その地形の特徴から、たくさん山や丘が出てきます。特に旧約聖書では「シナイ山」(出エジプト記3:1)、新約聖書では「オリーブ山」(マタイ24:3)などが代表的な山です。

詩人は自分に向かって問いかけています。「私は山に向かって目を上げる。私の助けはどこから来るのか。」このように冷静に立ち止まって、「果たして自分の助けはどこから来るのか」と問いかけることは大切なことだと思うのです。私たちは人生の中で、いろいろなことを経験します。「嬉しいこと」、「楽しいこと」、「苦しいこと」、「悲しいこと」、「つらいこと」などなど。詩人はこの時、どのような状況の中にいたのでしょうか。詩篇121篇は「都上りの歌」の一部ですので、これから巡礼の旅に出ようとして歌ったものかもしれません。詩人は不安の中にあつたのでしょうか。それでも「私の助けは主から来る。天地を造られたお方から。」と告白しました。天地万物の創造者である神様に信頼し、そのお方から助けが来ることを確信していました。私たちはいかがでしょうか。最初のオリエンテーションで、五色台にはさまざまな生き物(ムカデ、ハチ、ヘビなど)や動物(たぬきなど)がいるので注意してください、と施設のスタッフの方が話してくださいました。天体望遠鏡から見た美しい土星とその環、自分の目で見えた数えきれない星の数々も決して偶然の産物ではなく、神様が造ってくださったものなのです。

私たちも今、愛と恵みに満ちておられる神様によって生かされているこの事実を受け止めたいと思います。夜、平安のうちに横たわり、ぐっすり眠り、朝、さわやかな目覚めがあるというこの何気ない繰り返しのうちに、神様がいつもともにおられること、神様がいつもともに歩んでくださり、励ましてくださること、神様がいつも助けてくださること、これをぜひ受け止めていただきたいと心から願っています。まだまだコロナ禍にあります。日々の歩みとご健康が、支えられますように、お祈りいたします。